



第34回 関西ライフサイエンス リーディングサイエンティストセミナー



本セミナーは、ライフサイエンス分野で最先端の研究を展開されている関西の先生方にご講演をいただき、製薬、医療機器、診断薬、健康食品、医療関係者などのライフサイエンス関係者および一般の方々に、健康・医療産業に対するインスピレーションと産業化へのイメージーションを感じていただくことを目的としています。

このことは、産官学にわたる組織横断的なコミュニティの醸成と、産官学の対話促進につながるものと期待しています。

本セミナーは、3か月に一度の頻度で開催し、毎回2名の講師の先生から、最先端の研究についてホットな話題をお聞きいただけます。皆様のご参加をお待ちしております。

記

日時：2022年 **12月2日（金）** 14:00—16:00

※会場参加の方は13:40以降に入室可能です

開催方法：ハイブリッド開催

◆会場参加（申込先着順50名様）

：グランフロント大阪北館 タワーC 8F

ナレッジキャピタルカンファレンスルーム C-04

<http://www.kc-space.jp/conference/items/towerC.pdf>

◆オンライン（zoomウェビナーを使用します）

参加費：無料

主催：NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議、公益財団法人都市活力研究所

共催：NPO法人バイオグリッドセンター関西

後援：関西医薬品協会、バイオコミュニティ関西（BiocK）

講演 I 14:00-15:00

「感染症ワクチンの最適化に資する基盤技術構築」

大阪大学先導的学際研究機構・微生物病研究所 特任教授 吉岡 靖雄 氏

感染症ワクチンの重要性は言うまでもないが、未だワクチンの存在しない感染症や、ワクチン効果の増大や副反応の回避が必須となる事例も多く、適切なワクチン抗原の選定・設計、抗原送達キャリアやアジュバントの新規開発など、ワクチン学のさらなる推進が必要不可欠となっている。本講演では、感染症に対するワクチン開発の現状を概説すると共に、薬物送達学を基盤としたワクチンプラットフォームの構築についてご紹介させて頂き、多方面からのご批判、ご意見を頂戴したい。

講演Ⅱ 15:00-16:00

「表皮の恒常性維持機構とその破綻の病態生理」

神戸大学大学院医学研究科 内科系講座皮膚科学分野 教授 久保 亮治 氏

皮膚の表面は表皮と呼ばれる重層上皮細胞により覆われ、外界の様々な刺激から身体を守り恒常性を維持するバリアとして働いている。先天的／後天的に生じた種々の遺伝学的変化が、表皮の恒常性破綻を引き起こし様々な皮膚疾患の原因となることが分かってきた。細胞生物学と臨床遺伝学の視点から解き明かした皮膚疾患の病態生理について紹介する。

申込先：参加希望者は2022年12月1日（木）までに、NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議のホームページからお申込みください。

URL：<https://kinkibio.com/informations/2795>

※お申込みの際に、会場・オンラインどちらか選択してください。

※会場でのご視聴は申込先着50名様といたします。

それ以降の方は、オンライン視聴となりますがご了承ください。



こちらからもお申込みいただけます

問合先：NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 事務局 電話：06-4963-2107（菅原、大嶋）

公益財団法人都市活力研究所

電話：06-6359-1322（味村）